

屋久杉筆記具

岳南 作

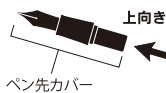
屋久杉とは、熱帯性気候と年間降雨量1万ミリという多雨に恵まれ、また台風の目抜き通りに位置し、数千年もの風雪に耐え抜いて育った樹齢1000年以上の屋久島のスギを屋久杉と呼んでいます。

自然保護のため天然記念物に指定され、現在では伐ることは禁止されています。江戸時代に伐採された切り株や台風で倒れた屋久杉が屋久杉工芸品の材料として使われています。長い年月を厳しい自然の中で育った屋久杉の年輪は緻密で、織りなす秀麗な木目、木肌の美しい色艶、堅牢さキメ細かさなど、長寿の銘木として今や全国で珍重されています。

プラチナ万年筆では、自然の芸術の極致ともいえる屋久杉、特に厳選された屋久杉をボディに使用し、アートとも呼べる名匠によるクラフト技術にて、色あい木目など1本1本異なる材料の良さを活かした筆記具を、屋久島観光協会の協力をえて完成致しました。自然保護法等の規制もあり、希少価値は更に高まるものと思われま

万年筆

■スペアーインクの差しこみ方



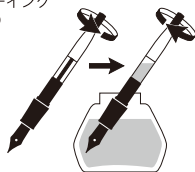
スペアーインクを差しこむときは、ペン先を上に向けた状態でゆっくりと右に回しながら、先端のステンレスボールがインク内に落ちるまで深く差し込んでください。

万年筆用スペアーインク
(SPSQ-400)

■吸入式（コンバーター使用の場合）



インクビンからインクを入れるには、ペン先をインクにたっぷりつけて、ゆっくり入れます。ペン先についた余分のインクは必ず柔らかい紙などで拭きとってください。



長くお使いいただくために

- インクのなくなったまま長時間放置しますと、スペアーインクが抜けにくくなりますので、ご注意ください。
- ペン先に無理な力を加えると、ペン先が曲がったり、インクの流れが悪くなったりすることがありますので、ご注意ください。
- インクの混色はインクの流動性を悪くし、万年筆の性能に影響します。どうしても色がえが必要な場合は、
1.ペン先カバー部分を水またはぬるま湯に5～6分浸す。2.インクの色がなくなるまで洗浄する。
3.よくふって、完全に水を切る。4.新しい色のスペアーインクを差し込む。
- 3ヶ月に1回はペン先を水かぬるま湯で洗ってお手入れをしてください。まずペン先カバー部分を水かぬるま湯に5分くらいつけておき、それからすっきり水を切って、インクを入れ直してください。またペンを使わないでしまっておくときは、ペン先カバー部分を水で洗っておくように心がけてください。

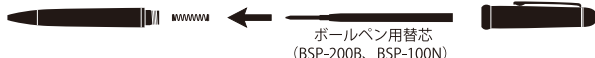
ボールペン

《回転繰り出し式》



キャップを回すと芯が出ます。

■替芯の交換



ボールペン用替芯
(BSP-200B、BSP-100N)

お手入れ法のご注意

- 軸、キャップは、やわらかい布で「空拭き」してください。濡らしたり、濡れた布で拭かないでください。
- 万年筆やボールペンはデリケートな製品です。硬いものの上に落ちたり、無理な使い方をされますと破損や故障の原因となりますのでご注意ください。

注意

筆記以外には使用しないでください。

- キャップ等の誤飲は窒息などの危険があります。
- インクの誤飲には、水を飲ませる等の処置をし、医師に相談してください。
- 《キャップ式筆記具》筆記以外では必ず元までキャップをしてください。衣服を汚す原因になります。
- 《回転式筆記具》筆記以外では必ずペン先を収納して下さい。衣服を汚す原因になります。
- ボールペンは、ペン先を上向きにしての筆記はさけて下さい、インク漏れの原因になります。

お客様相談係（通話料無料）

0120-875-760

9:00～17:00 土日・祝日を除く

プラチナ万年筆株式会社

〒110-8622 東京都台東区東上野 2-5-10

www.platinum-pen.co.jp